

すくらむ

vol.46

2014.03

<http://www.scrum21.or.jp>



すくらむ21インターンシップ生 自主企画プロジェクト
「みんなで「はたらく」の今とこれからを考える
ブリッジカフェ@すくらむ21」 (2013.12.6)

管理職も
楽しいですよ♪

特集

女性活躍のいま、これから

インタビュー

東日本旅客鉄道株式会社 武蔵小杉駅長

柳澤 美香さん



かわさを舞台にしなやかに、かろやかに、いきいきと活躍されている、魅力あふれる方を紹介します。

心を寄せて 声を聴いていきたい

東日本旅客鉄道株式会社 武蔵小杉駅長
柳澤 美香 さん



近年めまぐるしく変わる、武蔵小杉駅前。その中心にあるJR武蔵小杉駅の駅長を務める柳澤さんは、国鉄が分割民営化されてJR東日本となって間もない時期に入社し、営業部でのサービス向上や宣伝、さらには財務や人事での仕事や、新宿駅では女性ではじめて助役も経験されてきました。まだ日本では多くない女性管理職の一人として、どのようにお仕事に取り組まれていらっしゃるかを伺いました。

居心地のよい駅をつくりたい

国鉄から分割民営化したJR東日本が女性の本格的な採用を始めて間もない、平成2年4月に入社しました。私が採用された平成2年は、入社した240名中、女性は40名でした。当時、女性社員用のトイレが駅にはなかったくらいなんです。私が採用された頃は1%にも満たなかった女性社員が今では8%（5,000人弱）と、割合はまだ低いのですが、数の上ではずいぶん増えたと思います。

現在は、武蔵小杉駅長として、日頃何気なく使っている駅をホッとできる

場所にしたいと思っています。利用している駅を聞かれたときに、周辺にお住まいの方々が「武蔵小杉駅を使っている」と自信をもって答えていただける、そんな駅にしたい。接客の丁寧さや清潔感も大事ですが、それだけではない居心地のよさを、駅で働く全員で心をこめて作り出していきたいです。

ステップアップとは 関わる人や事がらが増えること

現在、JR東日本で女性の駅長は6名です。ここ4、5年の間で、ようやく1～5期生くらいの女性社員たちが管理職のポジションに就いてきたという状況です。入社当初は、管理職の仕事は大変で、豊富な知識を持たねばならないと思っていました。以前、新宿駅の助役になった時も「管理者として社員からの質問にきちんと答えられなければいけない」と、考えるたびに不安でした。しかし実際に就いてみると、知らないことは素直に聞いて教えてもらえばいいし、それをもとにちゃんと勉強すればいい、逆にそれをコミュニケーションのきっかけにしまえばいいのだと気がきました。いつしか

度胸もつきますし、抑えるべきポイントが見えてくれば気負わなくてもできるようになります。仕事は自分ひとりでするものではなく、一緒に取り組むメンバーの強みや弱みを活かしつつチーム全体で成果を出すものであるというのが、管理職になってからより感じる場所です。自分自身で全部やったとしても出来ることには限界がある。それよりも、周囲にやりたいことを伝えて、理解してもらい、それぞれに力を発揮してもらい、自分自身も効果があがるように様々に取り組み、組織としてアウトプットを出す。この方がはるかに成果も高く、やっているメンバーも幸せそうにしているということを学びました。

私にとってステップアップするということは、「偉くなる」ということではなく、「責任分担の範囲が変わり、より多くの仕事に責任を持って携わることができるということ、つまり、関わりあう人や事がらが増えるということ」だと思っています。興味やものの見方も広がりますし、社内外で顔見知りの人も増え、つながりが生まれ、人の輪も広がり、人生が豊かになります。

続けたい人が 続けられる支援をしたい

周囲の女性社員を見ていると、妊娠や出産にかかわる環境をいかに整備できるかが、就労を継続するうえでの大きな要因になっていると思います。ですので、仕事についてはできる限りフォローするようにしています。例えば、「仕事に戻れないのではないか」「他の社員と差がつくのではないか」と恐怖心を抱く女性社員に対しては、「一分一秒たりとも無駄な時間などないし、休暇中の経験全てが仕事に戻ってきた時に役立つのだから、見識を狭めず思い切り楽しみ、学んできて」と送り出すようにしています。

復帰後も同じで、子どもが発熱をした時に周囲に恐縮しながら早退する社員がいます。また、一生懸命仕事に取り組んでいた女性ほど、以前仕事をしていた自分自身とのギャップに悩んでしまいます。彼女たちには「突発的なことは、子育てだけではなく他の場合も同じだから気にせず、その分勤務時間内に精一杯仕事をするように」と伝えています。アウトプットが減らないように組織として対応していくことは

管理者の役割なので、スタッフ一人ひとりは勤務時間内に自分ができる最善を尽くせばよいのだと思います。せっかく入社したのですから、続けたい人が続けられるよう支援していきたいです。

先入観をもたず、心を寄せる

「誠心誠意、一生懸命、仕事をする」、「1日24時間しかないのだから、何ごとに対しても、明るく楽しく元気よく、真面目（真剣）に、そして仕事は正確に」ということを心掛けています。管理者になってからは特に、一緒に働くメンバーやお客様の声に「心を寄せて聴く」ことを大切に、人や物事に対する先入観は持たないようにしています。人やすることを好きになることも大切だと思っています。好きになることができれば何事もできる気がするの、おもしろいと思う部分、良いと感じる部分を探し、一緒に仕事をしているメンバーには良いと思った点や魅力だと感じたことを素直に伝えるようにしています。本人も意外と気づいていないようで、思わぬ発見につながることもありますし、何よりも「相手が

自分に興味を持っている」ことが伝わると嬉しくなるものですよ。

仕事は「誠心誠意取り組めば越えられない壁はない」と考えていますが、難しい時は気分転換に温泉やマッサージに行きます。旅行が趣味で温泉にも行きますし、仕事柄いつもというのは難しいですが、ネイルアートも好きです。タヒチアンダンスも習っています。どうしても落ち込んだ時には抑え込まずにテレビや映画をみたりして涙を思いっきり流してみたりもしますよ。落ち込むときは「深く、激しく、短く」です。「ネガティブに考えている自分」は絶対にイヤなので、上手くストレスを発散して、そうならないようにしています。



内閣府 平成25年度 地域における 男女共同参画連携支援事業

「ちょっと先行く先輩女子と語るキャリアサロン ～自分らしく働くための10のヒント」開催しました! 2014年2月15日(土)

第9回すくらむ21まつりの「前夜祭」として、市内の企業でリーダー職や管理職として活躍する女性たちをお招きし、高校生、大学生、就業後間もない社会人の女性とがキャリアについて語るサロンを開催しました。

大雪の次の日の開催でしたが、25名の方にご参加いただき「バリバリ働いて、どういうこと?」「理解あるパートナーって?!」「管理職ってどんな面白さがあるの?」など、日頃抱えているギモンや不安について、それぞれが「ちょっと先行く先輩女子」からヒントを得ていたようです。



柳澤さんも参加していただきました!

女性活躍のいま、これから



女性はコミュニケーションが得意!?

「夫が稼ぎ手となり妻が家事や子育てに専念する」という世帯と「夫婦共稼ぎ」の世帯の推移を見ると、1990年代にほぼ半々になり、2000年代に入ってから夫婦共稼ぎ世帯のほうが多数派になってきています(図1)。将来にわたって生産年齢人口が減少していくという予測のもとでは、今後ますます女性の職業の場への進出が広がっていくと考えられます。とはいえ、女性が職場で男性と変わりなく業務に従事できるようになるまでには、まだ乗り越えられなければならない課題がありそうです。

例えば、働く女性が増えてきたとはいえ、女性のなかにおいてでさえ「女性はコミュニケーションが得意だから広報で職業領域に入っていける」といった声が聞かれたり、実際にそれにもとづく配置がなされたりします。ですが、「女性はコミュニケーションが得意なのだから」は、すぐさま「やっぱりコミュニケーションが大事な子育ては今後も女性が担うほうがよい」ということに容易に転換しかねません。

仮にコミュニケーションが上手な人が女性により多く見られるとしても、それは生まれもった性質の違いだと言いきることはできるでしょうか。みなさんの周りを見渡してみれば、女性で

もコミュニケーションがあまり得意でないという方もいるでしょうし、反対にコミュニケーションがとても上手な男性もいるはずです。女性のなかにも男性のなかにもコミュニケーションが得意な人とそうでない人がいるとすれば、それは生まれもった性質の違いではなく、幼少の頃から両親や友だちとのあいだでコミュニケーションに関するスキルを発達させてきた、つまり社会文化のなかで作られてきたと考えられるほうがスムーズなのではないでしょうか。

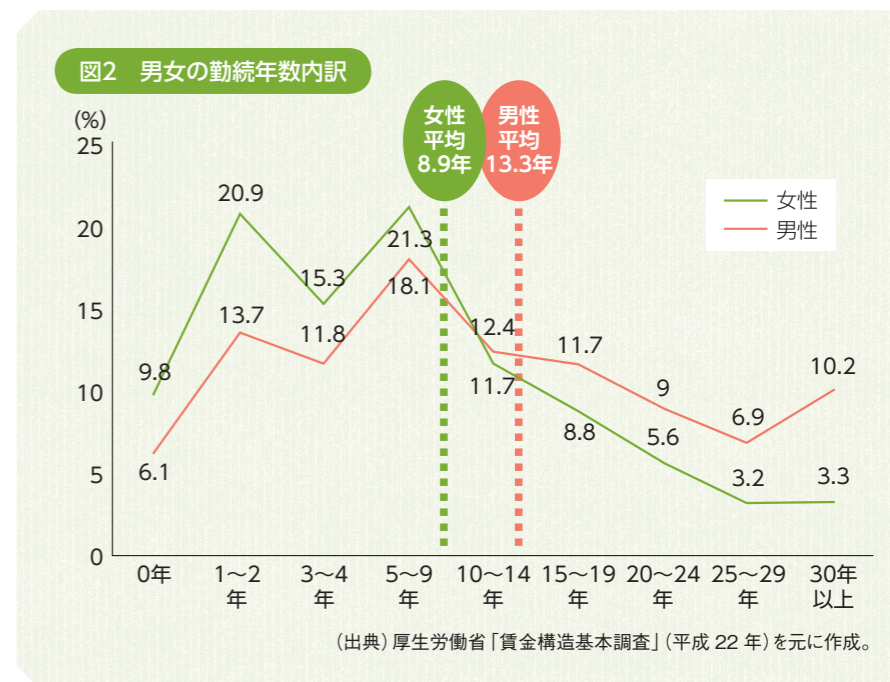
統計がもたらす誤解

別の例で言えば、勤続年数の平均値を見てみると、女性8.9年、男性13.3年となっています(図2)。また、厚生労働省「平成23年度雇用均等基本調査」によれば、企業の約3割が女性の活躍を推進する上での問題点として「女性の勤続年数が短い」ことを挙げています*1。これらの数値は知らなくても、一般的に「男性に比べて女性は勤続年数が短い」と考えてしまう企業は少なくないでしょう。そのため、男女雇用機会均等法で募集や採用において男女を差別することは禁じられているものの、新たに従業員を雇用するにあたり「男性のほうが長く勤められるだろう」との期待、判断がされてしまい、そのことが女性の職業の場での活躍をしにくくさせてきたと考えられます。

しかし、平均年数よりも長く勤める女性、定年まで勤めようとする女性ももちろんいますし、反対に女性の平均年数を下回る勤続年数で辞めてしまう男性従業員もいるはず。女性のなかにも男性のなかにも勤続年数はバラつきがあるにも関わらず、平均された像をもとに女性や男性をひとくりに捉えることは、そうでない女性への差別となりかねません。

こうした「統計的差別」は就業を希望する女性の就業機会を奪うだけでなく、就業や昇進の意欲をも失わせてしまいます。ですが、性別に関わらず意欲や希望をもてる環境を整えば、女性の勤続年数は延び、より活躍の場も広がっていくのではないのでしょうか。

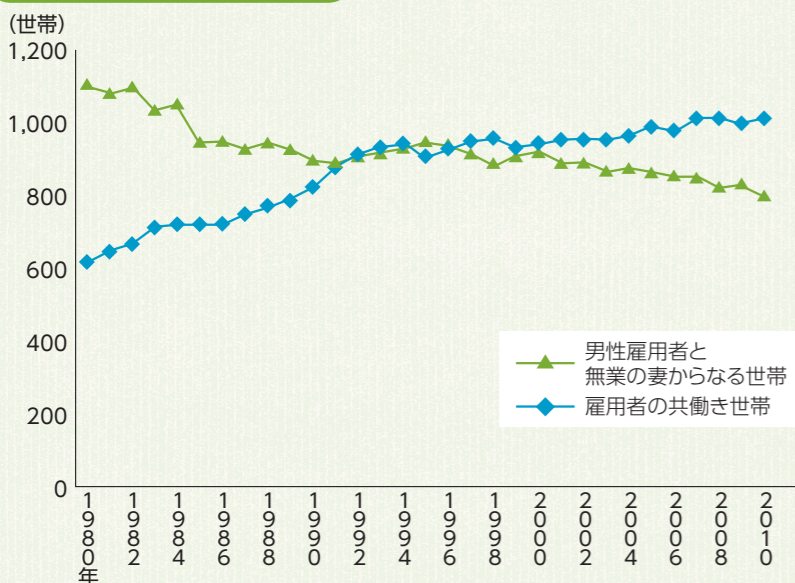
性別にとらわれることなく自分の力が発揮できる場があり、誰かの役に立ったり喜んでもらえたりしたとき、



私たちは大きな充実感を感じますし、それは企業はもとより社会にとっても有意義なこととなるでしょう。

*1 10人以上の企業では29.2%、30人以上の企業では33.5%。(厚生労働省「平成23年度雇用均等基本調査」)

図1 夫婦就業状況別の世帯数



長期インターンシップ研修生による、デートDVパネル制作・大学展示

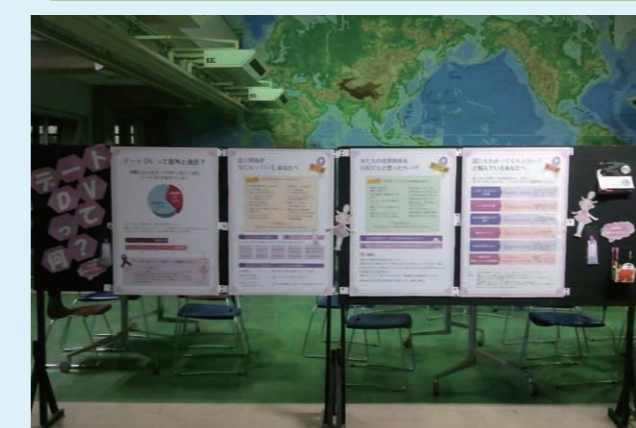
日本女子大学(11/5~8)



日本女子大学 生田キャンパス

若者のデートDV問題について取り上げ、予防啓発のためのパネルを作成し、大学で巡回展示を行いました。また、講義でデートDVが身近にあることを訴え、相談機関のひとつとして大学のカウンセリングセンターの協力が得られて良かったと思います。(市川)

神奈川大学(11/25~29)



神奈川大学 横浜キャンパス

デートDVのパネル展示ですが、予想以上に反応がいいです。チェック項目があることで、パネルの前で気軽に友人同士でやって話している方々もいます。横浜キャンパス学生相談室の協力を得て、学内の相談窓口とも連携しています。(今村)

つながる ふくらむ ふかまる

すくらむ21スタッフがオススメする、本、映画、アートなどを紹介します。



picture book

『しましまぐるぐる』



柏原晃夫(作)

924円(税込) / 2009年
学研

「しましま まんまるすいか」、「ぐるぐるぐろ ぺろぺろ きゃんでい」、「しましま ふわふわ タオル」などなど、タイトルのとおり、「しましま」と「ぐるぐる」がいっぱい、とてもかわいい絵本です。0歳児の赤ちゃんでもじーっと注目する赤、白、黒など鮮やかな色のコントラスト、心が和む温かいイラストで、赤ちゃんの好奇心を優しく刺激します。赤ちゃんの「初めての絵本」に最適、パパの読み聞かせにもオススメの一冊です。ぜひ「しましまぐるぐる」の世界を覗いてみてください。



Book

『学校教育の中のジェンダー』



直井道子・
村松泰子(編)

2,940円(税込)
2010年 / 日本評論社

小中学校の児童・生徒と教師へのアンケート調査をもとに、ジェンダーの視点から小中学生の実態が明らかにされています。児童・生徒の調査結果からは、例えば家事の手伝いは成績低下や職業に就くことに積極的でなくなると思われがちですが、手伝いをさせる親は勉強も見てあげており、勉強ができるようになりたいといった子どもの達成意欲や社会的な自立の促進につながっている等、興味深い内容です。「ジェンダー初心者」の教師はもちろん、保護者にとっての入門書にもなります。



黒糖の米粉蒸しパン



話題の米粉で、もちもち食感が楽しいこんなおやつはいかがですか？

材料を混ぜたらあとは蒸すだけ。簡単なうえに短時間でできる蒸しパンは、我が家でも大人気のおやつのひとつです。これなら忙しいパパでも、お子様と一緒に作れますね！

黒糖を使うことで、ほんのり茶色に優しく色づき、甘みにも深みが増します。

蒸しパンは、できたてのあつあつをハフハフしながら食べるのが一番！冷めると少し身がしまりパサつきますので、もし冷めてしまったら、ラップでそっと包んで、ほんのり温まる程度にレンジで温めて食べてください。

レシピ

材料 (3～4個分)

米粉……………100g 植物油……………大さじ1
黒糖……………大さじ3 水……………70～80g
ベーキングパウダー…小さじ1

準備 すぐに蒸せるように蒸し器を準備しておく。型(プリンカップや湯のみ等)にグラシンカップ等の敷き紙をセットしておく。

①米粉、黒糖、ベーキングパウダーをボールに入れ、泡だて器でよく混ぜる。

②植物油と水を入れゴムべらで手早く混ぜる。

③型に分け入れ、強めの火加減で12分蒸してできあがり。

ポイント ・水加減はホットケーキ生地の固さを目安に調整してください。

・強めの火加減で、たっぷりの蒸気で一気に蒸し上げます。

・ベーキングパウダーは開封して時間がたっているものは膨らみが悪くなるので、使わないようにしましょう。

アレンジ

小さく角切りにしたさつまいもを混ぜた「さつまいもの蒸しパン」、甘納豆を飾った「甘納豆蒸しパン」など、アレンジも簡単。我が家の子どもの一番人気は、チョコチップを混ぜた「チョコチップ蒸しパン」です。お好みの具を混ぜて、是非色々なバリエーションをお楽しみいただけたらと思います。

【レシピ提供】多森サクミさん

向ヶ丘遊園駅近くの古民家で、小麦・卵・乳製品不使用の米粉のパンとお菓子の教室「あれこれキッチン」を2013年11月にオープン。キッズスペース付きで食物アレルギー児に悩む親子に人気。著書に「炊飯器で超かんたん ふんわり米粉パン」(家の光協会)、「GO PANで「小麦ゼロ」のふんわりパン」(家の光協会)がある。ブログ「タモリサクミの米粉はロマン」 ● <http://komeko100.sblo.jp/> Facebook ページ ● <http://www.facebook.com/komepan/>

すくらむこらむ 働き方あれこれ

社会人になってから、10年以上経ちます。その間、家族が増え、夫の転勤などもあり、思い起こせば生活する場所や生活リズムなどは独身の頃とはガラリと変わりましたが、私は就業形態を変えながらも継続して仕事をしてきました。●会社員として会社へ勤務することが多かったのですが、フリーランスとして仕事をしていた時期もありました。子どもの待機児童問題に直面したことや、職業柄帰宅が遅くなってしまう傾向にあったこと等も理由の一つです。●さらにその他諸々の事情も重なって在宅勤務からスタートし、自宅でやるなら節税対策も兼ねようと屋号を取得して開業に至りました。開業届を出すのは簡単でしたが、個人事業主になると本業以外にもやらなければいけないことが膨大にあり、そのひとつが経理です。私は一年間

無料で税理士がサポートしてくれるサービスを利用して記帳の方法を一から教わり、ドキドキしながら初年度の確定申告をしたことを覚えています。また、かつての勤務先から請け負っていた仕事以外の顧客を得るために未経験だった営業活動も行いました。●うまくいかなかったことも多々ありましたが、自分で仕事を獲得できた喜びを知ることでもでき、良い経験となりました。同じフリーランスで子育て中の友人からアドバイスをもらったことも、励みや支えとなりました。●現在は、縁あってまた会社勤めをしていますが、私自身がそうであったように、女性は特に出産をきっかけに働き方を考えるケースが少なくないと思います。今後、働き方のひとつとして「起業」を選択する人もどんどん増えてくるかもしれません。

女性の視点が置き去りにならない防災・減災へのアプローチ

取り組みの出発点

① 3.11 東日本大震災の市内避難者への支援活動から避難所となった「とどろきアリーナ」への物資支援、女性のための悩み＆健康相談会を実施。

2011.12～(月1回)「女性と子どものための避難者ほっとサロン」を実施。避難所や被災時の状況の聞き取りから男女共同参画の視点での防災の取り組みの重要性を感じた。男女で異なる困難に直面していることがわかった。

② 災害によるダメージが男女で異なるということから

- 1) 災害による人的被害(女性の犠牲が男性より多い)
阪神・淡路大震災の死亡者数:男性 2,713 人、女性 3,680 人
- 2) 避難所や復興過程で女性のニーズがくみ取られない

*新潟県中越地震の避難所:
プライバシーを守る仕切りの導入が却下/洗濯・乾燥機の導入が却下/女性・子育て用品の備蓄がない

*東日本大震災の避難所:
女性特有の健康問題=膀胱炎、尿漏れ、生理不順、妊娠・出産など



◀制作した冊子

女性市民とともにつくる自助を基本とした防災活動の内容

① 防災に関する調査活動

防災に関する情報収集、基礎調査(ヒアリングや取材、必要に応じてアンケート調査)の実施。生活者としての視点から身近な備え、減災につながる取り組みについて検討し最初のとっかかりとして災害時のトイレ対策について研究。

② 防災講座の企画・実施

テーマを決めて災害時の事情とその対策について、書籍等では扱われにくいものでも、暮らしの身近な課題の解決につながるような事柄について一から企画し講座を実施。

③ 情報の発信・普及活動

メンバーが主体的に防災に関する収集した情報やプロジェクトの様子などを発信。防災ニュースレターを作成。出前講座として地域の防災の取組や学習会などに出張して普及活動を行う。



防災訓練や避難所運営訓練等にも参加の機会を頂き情報発信



▲出前講座の様子

プロジェクト基本姿勢

① 1人ひとりが防災の主体であり続けること、自助力を高めていくために取り組むことを活動の基本にする。

② 取り組みを通じて、女性のエンパワメントにつなげ、地域の女性の防災リーダーを1人でも多く増やしていきたい。

公募で集まった女性市民 9名

➔ 詳しくはホームページへ



施設関連情報

～より便利で使いやすい施設に～

川崎市男女共同参画センターでは、ご利用者の皆様により安心して快適に当施設をご利用いただくために、日々改善や修繕などの取り組みを行なっております。

貸出備品について

ノートパソコンの貸出を開始しました。

会議の記録、プレゼンテーション、研修用に。プロジェクター、スクリーンと併せてもご利用いただけます。

- ◆ご利用料金：1,000円/1コマ
- ◆搭載OS：windows 7
- ◆導入ソフト：ワード2010、エクセル2010、パワーポイント2010、など

持込み電源使用料を廃止しました。

利用料金のお支払いを含む利用手続きがなくなり、お気軽にご利用いただくことが出来るようになりました。

- ◆貸室利用目的に沿ったご利用をお願いします。
- ※交流室・情報提供室・ホールは今迄通り有料となります。

第3研修室の予約方法について

ふれあいネットからの予約に変更となりました。

今まで窓口予約だった第3研修室の予約方法について、2013年12月17日(火)より、ふれあいネットでの予約となりました。



- ◆ふれあいネットの操作方法、予約方法などは、下記ホームページをご参照頂くか、窓口でお問い合わせください。

<https://www.fureai-net.city.kawasaki.jp/>